別紙４

# 令和７年度こども食堂・未来応援基金助成事業　実施レポート

| | | |
|---|---|---|
| １ | 団体名 | のうカフェ株式会社 |
| ２ | 居場所等の名称 | のうカフェこども食堂 |
| ３ | 実施場所 | のうカフェ |
| ４ | 活動年月日 | 令和７年４月27日～８年３月22日 |
| ５ | 内容 | こども食堂 |
| ６ | １回あたりの参加人数 | ・こども　30名　・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ　9名<br>・団体ﾒﾝﾊﾞｰ　1名　・保護者　10名 |
| ７ | HPアドレス等 | https://noucafe.net/ |
| ８ | 活動の様子 | |

本事業では、月１回のこども食堂の開催を通じて、子育て世帯の居場所づくりと、地域のつながりの創出を目的に活動しています。
手づくりの食事の提供に加え、季節に応じた食の体験を取り入れ、親子で楽しみながら学べる機会を大切にしています。





５月〈食事〉こどもの日にちなんだ、ちまき風ご飯のおにぎり
〈活動〉天候に恵まれたため、屋外にブルーシートを敷いて昼食を実施。バーベキューコンロを使用し、寄付品のソーセージを焼くなど、開放的な雰囲気の中で食事を楽しみました。

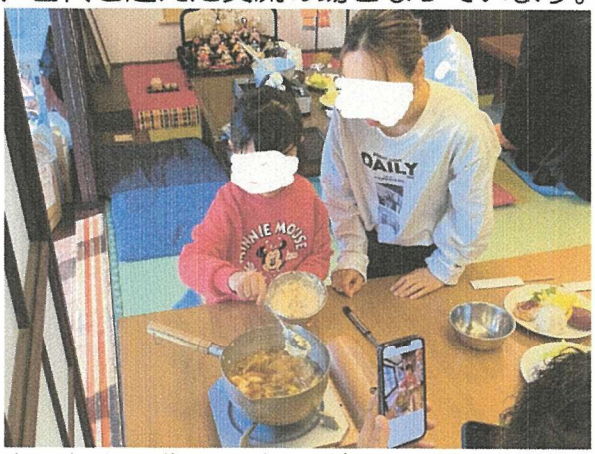




７月〈食事〉冷やし中華バイキング（好きな具材を選び、各自で盛り付け
〈活動〉夏野菜の収穫体験を実施。トマト・なす・ピーマンなどを自ら収穫することで、食材への関心を高める機会となりました。




９月〈食事〉おにぎり弁当
〈活動〉ジュニアボランティア（小学生～大学生）が主体的に参加。子どもたちと楽しめる遊びやゲームを企画・実施しました。また、毎回恒例の歌の時間は、世代を超えた交流の場となっています。


２月〈食事〉郷土料理「すいとん」作り、おにぎり弁当
〈活動〉家族ごとにすいとん作りを体験。屋外では焚き火を行い、ふかし芋や焼きマシュマロを楽しみました。伝統的な食文化に触れるとともに、自然の中で過ごす体験の機会となりました。

本活動は、
・子育て世帯が安心して過ごせる居場所づくり
・保護者同士の交流促進
・子どもが主体的に参加できる体験の提供
・栄養バランスに配慮した手づくりの食事の提供
を目的として継続しています。
また、９月以降は地域の中学校と連携し、部活動単位での参加受け入れを実施しました。地域の子どもたちが、保護者同伴でなくても安心して訪れることができる場づくりを意識し、コミュニケーションを大切に運営しています。
本事業を通じて、家庭・地域・学校をゆるやかにつなぐ役割を果たすとともに、子どもたちが多様な世代と関わりながら成長できる環境づくりを目指しています。
また、本活動には継続的に参加するボランティアスタッフがおり、参加者との自然な関わりの中で、保護者の相談を受けたり、見守りの役割を担う場面も見られます。ボランティア同士においても、活動を通じたつながり

| | |
|---|---|
| | が生まれ、地域の大人のゆるやかなコミュニティ形成にもつながっています。こうした関係性の広がりも、本事業の大きな付加価値の一つと考えています。 |

★写真の大きさや数は自由です（構成も自由です）。
★当センターホームページに公開する場合がありますので、写真については掲載の許可をいただいてください。